

令和6年度 指定管理者 評価報告書

No.	19	評価区分	II 観光施設、産業振興施設
施設名	飛騨市アスク山王	所管課	建築住宅課
指定管理者	株式会社 飛騨ゆい	地域名	河合町

1 施設の概要

施設所在地	飛騨市河合町稻越1631
設置目的	地域資源を活用した都市住民との交流を通じ、地域の活性化と産業の振興を図る。
施設の概要	宿泊施設5棟、交流棟1棟、その他付帯設備一式

2 指定管理者制度の導入状況

制度の当初導入	平成18年4月	募集の方法	公募
評価年度の属する指定期間	令和3年度～令和7年度（5年間）		
利用料金制	有り		

3 職員の配置

配置人員	常勤	2人(施設長:時給職員1人、時給職員1人)
	非常勤	3人(兼務月給職員0人、時給職員3人)

4 施設利用者の推移

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
利用者数 (人)	534	411	500	449
前年度増減比 (%)		-23.0%	21.7%	-10.2%

5 業務計画における達成状況

実施目標	達成状況
計画人数 500人	計画の90%。
施設利用の促進	見晴らしの良いコテージで滞在施設として利用

6 モニタリングによる意見及び苦情等の把握と対応状況

アンケート方式	手段	件数	件
その他の方式	手段 対面による聞き取り	件数	カウントしない 件
利用者等からの意見と対応		対応	
指定管理者に対する意見		①カメムシによる苦情・相談がある ② ③	
市に対する意見		① ② ③	

7 地域との交流・連携の取り組み

取り組み	実績及び評価
サッカーレンタルや地元団体と連携して施設利用	音楽合宿の利用には定評がある。今後は地元団体イベントなど利用者との結びつきで集客を増やす取り組みを継続してほしい。

8 指定管理者からの提案方策の実施状況

取り組み	実績及び評価
繁忙期で宿泊棟が空いていない場合は、自社が運営する周辺施設と連携し、お互いに宿泊案内を実施している。加えて、地域情報(釣り・自然)を提供することで集客に努めている。	提案書通り周辺施設との連携を図る取り組みがなされている。

9 自主事業の実施状況

実施内容	実績及び評価
実施計画なし	実施なし

10 人材育成の状況

実施内容	対象・回数など
管理運営の基本方針、個人情報保護	年度初め又は臨時雇用時に従業員教育実施

11 収支に関する状況(経費の縮減)

(単位:千円)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	主な内容
収入	2,760	3,011	2,644	2,843	
指定管理料	640	640	640	650	
利用料金	2,104	2,011	1,994	2,183	
純売上高	0	0	0		
その他	16	360	10	10	
支出	2,816	2,124	1,915	2,284	
売上原価	0	0	0	0	
人件費	975	579	539	515	
光熱水道費	744	666	639	660	
設備保全費	52	53	40	87	
修繕費	7	223	100	104	
備品消耗品	0	41	0	97	
清掃費	69	99	82	92	
その他管理費	411	70	0	175	
運営費事務費	208	145	331	390	
その他	350	248	184	164	
指定管理業務収支	△ 56	887	729	559	
自主事業収支					
全体収支	△ 56	887	729	559	
備考					

*指定管理料が0円の施設の自主事業収支は、指定管理業務収支に含まれるものとする。

12 収入確保に対する取組

取り組み	実績及び評価
ネット予約を活用。自社HP更新で発信を速やかに行う。社員全員が営業を行う。	ネット予約活用で利便性に配慮されているのは評価できる。本施設の情報がやまびこ館の公式HPに集約されているが、情報が殆どないので改善を望む。

13 経費削減に対する取組

実施内容	実績及び評価
勤務スタッフは全て地元在住者。光熱水費、燃料の抑制に対するスタッフの意識向上。	地元のスタッフであることにより、必要最小限の短時間勤務や通勤手当抑制が図られ、また、清掃後の電化製品の小まめなスイッチチェックで経費削減を意識しており評価できる。

14 指定管理者の評価

指定管理者制度運営委員会での審査を経て決定された最終評価

大項目	評価	前年	評価に対する内容
平等利用の確保(10)	c (4)	c	宿泊者への対応が適切である。
施設の効用の発揮(25)	c (13)	c	自社で更新できるホームページの利点を活かして、施設情報・特徴を掲載するなど更なる工夫をされたい。
安定した管理能力(20)	c (10)	c	経験豊富な従業員が多く、効率的な運営がされている。施設内の清掃は全般によく行き届いている。今後も継続してほしい。
経費の縮減(20)	c (10)	c	物価や人件費の高騰が著しく、対応への苦慮が窺える。必要最小限のシフト体制で対応する等、経費節減への努力が見られた。数字で効果が見られるよう繋げてほしい。
自主事業等及び各課で定める項目等(25)	c (13)	c	満室の場合は、自社が運営する周辺施設を活用する取組をされていることは評価できる。さらなる魅力を高める施策について、研究願いたい。
総合評価	C (50)	C	費用が増加傾向にある中でも、受入れのために必要なことは十分に行い、貸別荘という施設利点を活かしながら集客・営業活動したことは評価できる。今後の取り組みに期待する。